



〈発行所〉
高知県小中学校PTA連合会
塩見記念青少年プラザ内
高知市小津町6-4
TEL 802-7004
FAX 802-7009
E-mail
ken-p@kochinet.ed.jp

〈発行責任者〉
仲村 貴介
広報委員会

令和三年度第五十回日本PTA
四国ブロック研究大会高知大会

実行委員長 竹中 利文

令和三年十一月十三日土曜日、高知県民文化ホールオレンジホールにて「第五十回日本PTA四国ブロック研究大会高知大会」が開催されました。本大会開催については、新型コロナウイルス感染症蔓延により昨年からの開催方法について協議を重ね、できることから四国四県のPTA会員が高知県で一室に会する機会となることを願っておりまして、六月の四国ブロック研究大会として、四国ブロック研究大会として、初めてとなる「ハイブリッド参加型」の研究大会として開催する運びとなりました。そして、新型コロナウイルス感染症対策として、従来開催していた前日のレセプション、当日のオープニングセレモニーなども中止とし、各自で昼食を取って頂いたうえで入場して頂



く等、開催時間も調整しました。また、参加頂きましたみなさまには、手指消毒と検温、着席された座席番号の提出などにご協力頂き、誠にありがとうございました。
そういつたなか、大会が開会され、配信については万全の対策で準備したものの、通信環境によっては途中で映像、音声が途切れることがあるなどの注意事項をお伝えしました。
そして、主催者あいさつでは、高知県小中学校PTA連合会仲村貴介会長より大会に馳せる想いと大会スローガン「子どもたちと共に学ぼう、活かそう、未来

を切り拓こう！」の循環型社会の実現に向けて」についての説明と、PTA表彰を受賞された方々と大会関係者への感謝の言葉がありました。
共催者あいさつでは、伊藤博明高知県教育長より第二期高知県教育大綱、第三期高知県教育振興基本計画のなかで、令和三年度は厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実、不登校への総合的な対応、学校における働き方改革の推進、デジタル社会に向けた教育の推進など四つの施策について充実強化している報告と大会参加者への感謝の言葉がありました。

次に、来賓祝辞として、高知県知事濱田省司様より「コロナ禍であっても将来を担う子どもたちが、未来を切り開く力を身につけるために途切れることのない教育の振興を計っていくことが大切であり、学校・家庭・地域の連携が不可欠で、今後PTAの役割が益々重要になる」というお言葉を頂きました。

続いて、公益社団法人日本PTA全国協議会清水敬介会長より、ビデオメッセージでコロナ禍において例年とは違った形での活動をしなければならぬなかでも、文部科学省をはじめ、教育関係団体各位との連携を深め、有益な情報を提供できるよう努めて、日本最大の社会教育関係団体として邁進していくというご祝辞を頂き、高知県小中学校PTA連合会に感謝状が贈られました。
また、衆議院議員中谷元さま、尾崎正直さま、山崎正恭さまから祝電を頂戴し、披露されました。

次に、表彰行事として、四国ブロックPTA会長表彰として、香川県PTA連絡協議会より山田士郎さま、山本千景さま、高知県小中学校PTA連合会より下元隆志さまが登壇し、また、四国ブロックPTA協議会から感謝状が、高知県小中学校PTA連合会演壇で玲蘭さまに贈られました。
開会行事は、高知県小中学校PTA連合会岡林拓也副会長の閉式のことばで終わりました。

2021年度版
高知県小中学校PTA連合会会員の皆様へ
PTA団体保険のご案内
PTA団体保険特別引当金特約付加入者へのPTA賠償責任保険
PTA加入手続き
ご加入依頼書のご提出締切日
各PTAのご担当者の方は、5月21日(金)までに、高知県小中学校PTA連合会事務局(〒780-0870 高知市本町4-1-16 高知電気ビル6階)まで、ご依頼ください。

繋がるなど、さまざまな実例とデータを基に、家庭教育の大切さの説明となりました。
次の宇宙サイエンス教室では、JAXA宇宙教育リーダーDiscover MediaLLC、代表岡崎正哲氏による「宇宙からの視点で世界を再発見する」というテーマでお話し頂きました。デイスカバリーチャンネルさながらの美しい映像と楽しい実験で、会場からだけでなく、オンライン上での質問もあり、おとなになっても学ぶことが減らされず、学力の低下にも

は楽しいんだということも再認識できた授業になりました。
次に、令和四年度第五十回四国ブロック研究大会愛媛大会のPR映像が流されました。
最後に、高知県小中学校PTA連合会山下洋平理事が閉会のことばを述べ、閉会となりました。
今回の研究大会は、記念すべき五十回大会ということもあり、なんとか開催したい、絶対に失敗してはいけないという想いで準備してきました。県P役員、理

事、事務局の先生方、当日お手伝い頂いた各地区PTA会員のみならず、ご協力のおかげで、大きなトラブルなく、無事に開催できましたこと改めて感謝申し上げます。これからは子どもたちの健康やかな成長のために、我々PTAは学び、活かし、未来を切り拓いていくことなでありたいと思います。

高知県PTA安全互助会のご案内
(はじめに)
本会の構成についてご案内
二〇〇六年四月の保険業法改正にもない、県P連独自の安全互助会運営を休止している状態であることから、県P連では、それに代わりまず制度として「PTA団体保険(PTA団体傷害保険+PTA管理者賠償責任保険)」を案内し

高知県PTA安全互助会運営委員会
(本会の構成)
本会に加入した単位PTAの会員
(本会の主な事業内容)
(一)PTA団体保険の加入の取りまとめに関すること
(二)基金の適正な管理
(三)単位PTAへの見舞金の給付(PTA団体保険からの給付)

東京海上日動火災保険株式会社 高知支店・高知支社
TOKIOMARINE NICHIDO
〒780-0870 高知市本町4-1-16 高知電気ビル6階 TEL088-823-2575
損害保険ジャパン株式会社 高知中央支社 〒780-0870 高知市本町2-1-6 TEL088-822-6202
http://www.kochi-pta.com

高知県PTA研究大会に参加して

高知県小中学校PTA連合会理事 山下 洋平

令和三年十月三十日に土佐市複合文化施設「つな」にて高知県PTA研究大会が開催されました。本大会は、本来ならば七月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染者が多くなっていたことから延期となっていました。主催者をはじめ、関係者や、来場して下さったみなさま、リモート参加して下さった方々、本当にありがとうございました。

自己表現する力を育てていくと知りまし。なので「心配だから」と思ってしまうかもしれないが、子どものためならと思いついてみるのもいいかも知れません。

次に、学校安全対策課から、自転車乗車時ヘルメット着用の大切さの説明をしていただきました。十三歳未満の子どもの自転車乗車用ヘルメット着用は、保護者の努力義務として規定されていることや、ヘルメット購入時の補助もあるのががでしょうか。

そして、戸波中学校PTAから実践発表がありました。戸波地区の現状や生徒数などを教えて頂きPTAの各部の取組についても説明していただきました。取組のひとつとして二〇一七年から全校お弁当の日が設けられていることを知りま

今回の研究テーマは「学校・家庭・地域から子どもの育ちを考える」のポストコロナの子育てはどうあるべきかと題しまして、まず高知県教育委員会事務局から、生きる力の基礎を育む幼児教育について幼保連携から説明していただきました。私が一番印象に残った内容は「遊びのなかで育つ」ということです。遊びのなかで、人と関わる力、

お弁当を親子で作ることにより同じ時間を共有し、絆が生まれる大きな力になっていくのだと感じました。次に、戸波あつたか教育推進協議の説明をしていただきました。これは、子どもたちのサポートをするための活動を戸波地区全体で取り組んでおり、地域が強い決意で協力していると感じました。

そして、昨年も講演頂き多くの反響から二年連続となった佛教大学副学長原清治先生の講演です。演題は「ポストコロナの子育てはどうあるべきか」でした。原先生は、学力低下の問題やネットいじめなどを中心とした研究をされており、多くの論文や本を執筆している方です。

まず、コロナ禍で休校になつてしまっている間に子どもはどんな過ごし方をしていたかや、流行しているゲーム内で起こっていることを教えてくださいました。その数分で一気に原ワールドに吸い込まれました。休校で元気が無くなつてしまっている子どもたちへおとなが元気をだせようとする理をさせることが逆にしんどさをプラスさせてしまう恐れがあるので注意しなければなりません。不登校の問題もあるなかで、やはり親としては、どうか学校へ行けるようにしなければと

の先生だけに頼らず、保護者も子どもの気持ちに寄り添い、しっかりと話を聞いてあげることが重要ではないかと考えます。昨年にも原先生が講演されたなかに、「島宇宙化」という言葉がありました。徐々に関係を子どもたちに構築していってほしいという思いに焦りを感じてしまつたのですが、登校しづらくなつた子どもへ「再」登校を望むのであれば必要なのはスマートフォンやタブレットといったことも教えてくださいました。一気にゴールである教室への登校ではなく、徐々に気持ちから向けていくことが大事だとも言われました。そのためには学校

のならば、保護者側も一度、自身の人間関係が子どものお手本になれているかどうか、見直してみるのも一つの手ではないでしょうか。私たちが完璧ではなく、「生涯学習」というように先生、保護者、子ども、みんなが学びを考えていけたらいいなと思えました。

降の起床は遅すぎる
②睡眠時間(量)
途中で目覚めることなくぐっすり眠る
幼児十時間 低学年九(十時間 高学年九時間 中学生八時間以上 休日の寝だめは効果なし)
③リズム(質)
寝る時間、起る時間を同じ時間にする 食事も毎日同じ時間にする
この三要素を守り生活リズムを整えることで心も体も安定するそうです。眠育のお話の後に今回参加されたみなさんとグループ討議を行いました。睡眠ログの事例で幼稚園児(男)A、B、中学生(男女)C、D、夜寝た時間と朝起きた時間、自分で起きたか、朝ごはんを食べたかを表に出した結果をグループ討議し色々な答えが出されました。多く出たのが「時間が不規則」「寝る量が少ない」「寝る時間が遅い」などで、中学生になるとほぼ深夜まで起きており土日で寝だめをして睡眠時間が取れていない女の子に關しては朝ごはんも食べてない状況で、これ

では精神面ですが体調不良も起こしているのではないかとみなさん心配をされていました。この後、質疑応答で先生にアドバイスをして頂きましたが、やはり生活リズムの乱れの改善を言われました。寝る時間をきちんと決め、ぐっすり深く眠れる様に睡眠時間を確保するという事です。眠育が如何に子どもたちにとって重要かを今回の講演で教わりました。乳幼児から生活リズムを整え子どもの成長を見守りその子どもたちがおとなになつても眠育を教える行ける様な環境を作って行ければと思います。また、眠育を取り組んで行くことで、不登校の改善や体調も良くなり色々なことに対して「やるきUP」学力でも「成績UP」良いことばかりです。高知県も「早寝 早起き 朝ごはん」に取り組んでいます。この様な取組をPTA活動でもっとたくさんの方に広め知って頂きたいと思えます。これからの子どもたちの未来のために今の生活リズムを見直してください。

乳幼児から始まる「眠育」

高知県小中学校PTA連合会副会長 濱田 昭

令和三年十二月十二日、高知会館に於いて「土佐の子育て交流会」が開催されました。講師は熊本大学名誉教授・日本眠育推進協議会理事長の三池輝久先生をお迎えし今回のテーマ「子どもたちの学校生活を守る眠育と医学的背景」について講演頂きました。みなさんは、「眠育」についてご存知でしょうか。眠育とは、睡眠教育の略で睡眠の大切さを知ること、生活習慣を見直し、学校生活に適

対応できなくなることを予防する取組です。三池先生は三十年以上にわたり、子どもの睡眠障害の臨床及び調査をされています。お話のなかで眠育は乳幼児期からの「生活リズム」の形成「言い換えると」体内時計の形成が心身の発達に極めて関連しており、不規則な生活リズムや、著しい夜更かし型乳幼児に発達障害が多く見られるそうです。また、日本の子どもたちの睡眠時間は世界一短いことも明らかになっています。インターネットの普及で各家庭の生活環境の変化で夜遅くまで動画配信を見たり友だちとのSNSやオンラインゲームなど、勉強も遅くまでしているようです。それに加えおとなも遅くまで起きていれば、十分な睡眠を取ることができないうらやましいと思えます。

「なんかしんどい」「眠れない」「朝起きられない」「やる気がでない」「学校に行きたくない」などが挙げられます。特に問題視されているのが「学校に行きたくない」「すなわち不登校です。この様な問題に対し大阪府堺市の中学校で眠育の大切さを教える「眠育」が始まったそうです。不登校の子どもには、「学校に行きたくても行けない子」が少なくなく、そういった子どもたちの心に寄り添うだけでなく「生活リズムを整える体の支援」を組み合わせて取り組んでいるとのこと。各都道府県で少しずつではありますが「眠育」について色々な取組がなされています。

ここで簡単に睡眠について良い三要素を紹介したいと思います。

受賞おめでとうございます

令和三年度県P連

広報紙コンテスト入賞校

【最優秀賞】 高知市立初月小学校PTA

【優秀賞】 高知市立春野中学校PTA

【奨励賞】 香南市立野市小学校PTA

本山町立吉野小学校PTA

高知市立介良小学校PTA

いの町立伊野南小学校PTA

令和三年度

日本PTA全国協議会

会長表彰

【団体表彰】 日高村立能津小学校PTA

令和三年度

文部科学大臣表彰

【優良PTA表彰】 香美市立大宮小学校PTA

越知町立越知中学校PTA

